



かのう れい
加納 玲以 (埴生中学校 3年)

ハイスクールの日本語の授業に参加したときはとても楽しかったです。日本とオーストラリアの学校の違いについて聞かれ、私は生徒が学校を掃除する時間があることを教えました。日本では当たり前なことだけど、オーストラリアではそういう習慣がないので、みんなが興味を示し、たくさん質問してくれました。日本について少しでしたが伝えることができ良かったです。また生徒たちは勉強熱心で、日本とは違った授業の雰囲気を経験でき、今後の学校生活に生かしていきたいです。



ふじい ななこ
藤井 菜々子 (竜王中学校 3年)

ホストファミリーは、休日に色々な所に連れて行ってくださいました。一番楽しかったのはクイーンズランド大学のオープンキャンパスに行ったことです。大学は日本では見たことのないような整った環境で専門的な学習をしていて、とても興味を持ちました。これからの自分の進路についても考えることのできる一日になりました。今回の私たちの派遣事業を応援してくださった全ての方に心から感謝し、これからももっともっと努力し、色々なことに挑戦して成長していきたいと思います。



やまもと りほ
山本 里穂 (厚陽中学校 3年)

オーストラリアで驚いたことは、まず食文化の違いです。滞在した10日間は肉中心の食事で、一度しか米を食べませんでした。もう一つ驚いたことは、街全体が美しいということです。歩道も車道も広くガードレールもありません。日本とは違い、とても開放的な気持ちになります。道路にカンガルー注意の標識が立っていたのは、オーストラリアならではの印象でした。色々な文化や習慣の違いはあるけれど、日本でしか生活をしたことのない私にとって、すべてが新鮮でいい経験となりました。



まつばら いずみ
松原 泉 (小野田中学校 3年)

オーストラリアは移民によってできた国なので、各自の文化やお互いの違いが尊重されています。そのため、学校でいじめが起こったときには厳しいペナルティがあると現地の先生から伺いました。校則はありますが、ほとんど本人の自主性に任されているようで、私たちの学校では考えられないことです。また、ホストファミリーには色々なところに連れて行ってもらいました。その中でも競馬場は初めてだったので、間近で見たレースに大興奮でした！ホストファミリーは私にとって最高の家族でした。



ふきあげ みく
吹上 実来 (厚狭中学校 3年)

オーストラリアの生徒と授業を一緒に受けましたが、話すのが早すぎてよくわからず、戸惑いの連続でした。バディのJulietと対面した後、緊張しながら話していたら、バディは日本語で答えてくれました。わからない単語は翻訳機を使って、私の言っていることを理解しようとしてくれました。コミュニケーションをとることが大切だと、よく学校で言われています。私は今回の経験で、コミュニケーションをとるといことは、相手を思いやる心と感謝する心なんだなと感じました。



なかの みすず
中野 未涼 (高千帆中学校 3年)

オーストラリアの人々はとても優しくフレンドリーで、学校ですれ違ったときに挨拶はもちろん、たくさん話しかけてくれて、とてもうれしかったです。そして生徒は髪型も自由、ピアスをして大丈夫なことにとっても驚きました。しかし、それによって学校の風紀が乱れることはなく、一人ひとりが個性を大切にしていたので、さすが多文化社会だなと思いました。今回の派遣は、親、学校の先生方、そして部活のメンバーが支えてくれたおかげで行くことができたことを心から感謝しています。



きたやま さくら
引率者：**北山 桜**
(高千帆中学校教諭)

オーストラリアでは日本のアニメや漫画、ゲームなどが大人気で、日本語を勉強したいと思っている人は多いようです。こういう話になると大いに盛り上がり、国境を感じさせない共通の話題になっていました。オーストラリアの授業はグループ活動が多用されており、教師と生徒のやり取りはとても活発な印象を受けました。良いところは積極的に取り入れて、自分の授業改善に役立てたいと思います。今回の派遣では、多くのことを体験し感じる事ができ、有意義なものとなりました。生徒たちのたくましさや日々成長していく姿を見守ることができ、うれしく思いました。